

上海・蘇州 3泊4日の旅

2009年10月10日(土)～10月13日(火)

事業副委員長 佐久間喜久子



去る10月10日より13日まで、海外研修旅行「上海・蘇州 3泊4日の旅」に行ってきました。羽田空港より2時間45分ほどで上海へ、早速バスで上海市の中心部へ向いました。

まず上海市のシンボル「東方明珠タワー」に、293mの展望台に上り、上海市を上から見ることにしました。上海市は人口2千万人、昔から海側に開けた街です。タワーの下には大きな客船も浮かぶ大河「黄浦江川」がゆったりと流れ河畔にもその奥にも見渡す限りのビルの群れ、タワー側の彼方まで林立するビルばかりです。赤と青のきれいな屋根の建物が見えます。これは上海市が美観のため色を統一させたものといえます。10階建てくらいはあろう建物がいかにも小さくかすんで見える程、周りの建物の大きい事、工事中の所もありまだまだこの街は大きくなって行くのでしょう。

街中をバスで見学して、近代的なビル群から取り残されたような場所が何か所もありました。今にも崩れ落ちそうな古い家、屋根がない家、半分取り壊されてしまったのにその中のポツンと明りが漏れていたり、こんなガレキの山の中のこんな家にも、人々の生活はあるのだとその落差に少し悲しくなりました。

2日目は早起きして中国の新幹線で蘇州へと向いました。乗り心地は日本の新幹線の方がいいですね。

蘇州は水の都、東洋のベニスと言われ、日本にも戦前から「蘇州夜曲」などの曲で良く知られています。

ここには世界遺産に登録されている庭園が6つあります。又大小さまざまな庭園が200ヶ所以上あるとの事です。

昔、中国人のライフスタイルには、科挙試験に合格し、皇帝に仕え出世し、職を辞した後、庭園を造りそこで生涯を送るというものがあり、故に沢山の庭園がこの地に造られていったのです。その中の一つが今回見学した拙政園、世界遺産に登録されています。明の時代1500年頃に造られました。

入口を入るとすぐ目の前に築山があります。これはこの中にめったな事では見せないぞという意味がありそれでも中に入っていくといろいろな仕掛けの建物が現われます。

ガイドさんはいろいろと説明してくれましたが、その中で印象に残ったものの一つに、四季を表わした四つの築山があります。山のないこのあたり

にせめて築山を作って下から眺めてみたいとの願望から、春、夏、秋、冬とそれぞれ名前がついており、その季節にふさわしい植物が植えられて目を楽しませるようになっていきます。又、「てん足」のため外を自由に歩けない女性達が輿に乗って、四季折々にこの築山に登って楽しんだという事です。悲しい風習の言葉をここで聞きました。

又、この築山あるいは庭を造るための石は遠くの地から運んできたもので3トンはあろうという事です。途方もない事を考え、それを実行するだけの富と時間、昔の中国人の思いのすごさ……。そんなことを考えました。

蘇州の水の都というだけあり、古い街並が縦横に運河が張り巡らせています。古いだけに足元も悪くまわりの建物も決してきれいとは言えません。運河の水もあまりきれいではありませんが魚もあり、そこで洗濯をしている人も居りました。私達は屋形船に乗り40分程まわりの風景を楽しみました。帰り上海まで戻り、夜は雑伎団の演技を見学しました。雑伎団専用のステージがあり毎晩公演されています。雑伎団という名から受けるイメージとは違い、なかなか洗練された演技です。クライマックスには会場から誰ともなく拍手が沸き起ります。素晴らしい演技にあっという間に過ぎた2時間でした。

三日目は上海市内を主にバスの中から見物しました。上海市内には「豫園」と「玉仏寺」の2ヶ所を主に見学しました。どちらも古い時代の建物です。特に玉仏寺はその名の通り一つの「ヒスイ」から彫刻したお釈迦様が御本尊、木像と違い、石ですからどのくらいの年月が過ぎているのか判りませんがとても美しく、今まで見た多くの仏像の

中で最も素晴らしいものでした。

夜は食事のあと一日目に見た「東方明珠タワー」の下を流れる川で船から上海の夜景を見学しました。夜7時から10時まで全体がライトアップされ光の中に浮かぶビルが美しく川面に映えます。船はゆっくりと川上をさかのぼりしばらくしてUターン、夜風は冷たさを感じる季節ではありましたが、船上では笑い声があふれ、私達の心の中も温かさで満ちあふれ、上海での最後の夜はゆっくり過ぎていきました。

今回の研修旅行には25名の参加がありました。海外から日本を見ると、良い所、悪い所が少し分かってくるような気がします。今まで名前のわからなかった人達とも、以外な所で繋がっていたり、友達、仲間の輪もどんどん広がって大きくなって行きます。

これこそ旅の良い所来年も多分、企画されるでしょうから沢山の人が参加される事を心より願ってやみません。

